

景気動向調査

水産加工業

令和2年1～3月期、4～6月期

調査概要

| | |
|--------|--|
| 調査時期 | 令和2年8月1日～同31日 |
| 調査対象時期 | <第1期> (当期) 令和2年1～3月 (次期) : 令和2年4～6月 <第2期> (当期) 令和2年4～6月 (次期) : 令和2年7～9月 |
| 調査対象企業 | 水産加工業者40社 |
| 有効回答率 | 60.0% |
| 調査方法 | 郵送によるアンケート方式 |
| 調査内容 | ①業界景気、自社景況などの実績と次期予測 ②経営上の課題 ③新型コロナウィルスの事業への影響、望む支援など（自由記述） |

1. 【質問1】集計結果

—B.S.Iで見る業種別景気動向—

B.S.I とは

- ・「Business Survey Index（ビジネス・サーベイ・インデックス）」の略で、景況判断指数のひとつ
- ・現在の景気水準をはかるDI（ディフュージョン・インデックス）に対して、BSIは前期と現在の景気状況を比較するため、景気の方向性を判断できる
- ・下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

計算式：（「上昇：好調の要素」－「下降：不調の要素」）÷2

※最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

| | 項 目 | 回答欄 | |
|---|---|------|------|
| | | 当期実績 | 次期予測 |
| 1 | 国内景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い | | |
| 2 | 貴業界景気について 1. 良い 2. やや良い 3. 不変 4. やや悪い 5. 悪い | | |
| 3 | 貴社 売上について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少 | | |
| 4 | 貴社 営業利益について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少 | | |
| 5 | 貴社 製(商)品在庫について 1. 過少 2. やや過少 3. 不変 4. やや過多 5. 過多 | | |
| 6 | 貴社 資金繰りについて 1. 容易 2. やや容易 3. 不変 4. やや困難 5. 困難 | | |
| 7 | 貴社 設備投資について 1. 増加 2. やや増加 3. 不変 4. やや減少 5. 減少 | | |

(1) 国内景気について

| | 1~3月期 | | 4~6月期 | |
|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| | 実績 (1~3月) | 次期予測 (4~6月) | 実績 (4~6月) | 次期予測 (7~9月) |
| 水産加工業者 | -41.7 | -39.6 | -43.8 | -47.9 |
| 実績と予測の差 | -17.5 | 2.1 | -4.2 | -4.1 |

【1~3月期】

- ・実績値-41.7を記録。前期に予測された値との差が-17.5と、見通しより低迷した
- ・次期予測値が-39.6と、実績値と大きく変わらない結果に。国内景気は低迷が続く見通しに

【4~6月期】

- ・実績値-43.8を記録。前期に予測された値との差が-4.2と、予測値と近い結果に
- ・次期予測値が-47.9と、負の最大値である-50.0に切迫。極めて悪い状態にあると予測された

(2) 業界景気について

| | 1~3月期 | | 4~6月期 | |
|---------|----------|------------|----------|------------|
| | 実績（1~3月） | 次期予測（4~6月） | 実績（4~6月） | 次期予測（7~9月） |
| 水産加工業者 | -35.4 | -39.6 | -43.8 | -45.8 |
| 実績と予測の差 | -4.8 | -4.2 | -4.2 | -2.0 |

【1~3月期】

- ・実績値-35.4を記録。前期実績に続いてBSI-30.0台を記録し、厳しい状況が続いている
- ・次期予測値が-39.6と、実績値と大きく変わらない結果に。業界景気は低迷が続く見通しに

【4~6月期】

- ・実績値-43.8を記録。前期に予測された値との差が-4.2と、予測値と近い結果に
- ・次期予測値が-45.8と、負の最大値である-50.0に切迫。極めて悪い状態にあると予測された

(3) 売上について

| | 1~3月期 | | 4~6月期 | |
|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| | 実績 (1~3月) | 次期予測 (4~6月) | 実績 (4~6月) | 次期予測 (7~9月) |
| 水産加工業者 | -22.9 | -27.1 | -22.9 | -27.1 |
| 実績と予測の差 | -10.0 | -4.2 | 4.2 | -4.2 |

【1~3月期】

- ・実績値-22.9を記録。国内・業界の両景気ほど落ち込みはないが、低迷が続いている
- ・次期予測値が-27.1と、実績値と大きく変わらないが、現状よりやや悪化する見通し

【4~6月期】

- ・実績値-22.9を記録。前期に予測された値との差が+4.2、前期実績値と同値だった
- ・次期予測値が-27.1と、実績値と大きく変わらないが、現状よりやや悪化する見通し

(4) 営業利益について

| | 1～3月期 | | 4～6月期 | |
|---------|----------|------------|----------|------------|
| | 実績（1～3月） | 次期予測（4～6月） | 実績（4～6月） | 次期予測（7～9月） |
| 水産加工業者 | -27.1 | -27.1 | -25.0 | -27.1 |
| 実績と予測の差 | -9.4 | 0.0 | 2.1 | -2.1 |

【1～3月期】

- ・実績値-27.1を記録。前期に予測された値との差が-9.4と、やや悪化傾向にあった
- ・次期予測値が-27.1と、実績値と変わらない数値に。現状と近い状況になる予測が出た

【4～6月期】

- ・実績値-25.0を記録。前期実績値とほぼ同値で、低迷がうかがえた
- ・次期予測値が-27.1。本年上期と同様の状況が続く見込み

(5) 製(商)品在庫について

(プラス：在庫過少 マイナス：在庫過多)

| | 1～3月期 | | 4～6月期 | |
|---------|----------|------------|----------|------------|
| | 実績（1～3月） | 次期予測（4～6月） | 実績（4～6月） | 次期予測（7～9月） |
| 水産加工業者 | -8.3 | -4.2 | -10.4 | -8.3 |
| 実績と予測の差 | -9.9 | 4.1 | -6.2 | 2.1 |

【1～3月期】

- ・実績値-8.3を記録。やや在庫过多の状況にあった
- ・次期予測値が-4.2。実績値と比較して+4.1と、在庫状況はやや解消の見通しとなった

【4～6月期】

- ・実績値-10.4を記録。前期に予測された値との差が-6.2、在庫状況は前期実績と近い結果に
- ・次期予測値が-8.3と、実績と大きく差がない見通しとなった

(6) 資金繰り

| | 1~3月期 | | 4~6月期 | |
|---------|----------|------------|----------|------------|
| | 実績（1~3月） | 次期予測（4~6月） | 実績（4~6月） | 次期予測（7~9月） |
| 水産加工業者 | -14.6 | -18.8 | -18.8 | -22.9 |
| 実績と予測の差 | -6.5 | -4.2 | 0.0 | -4.1 |

【1~3月期】

- ・実績値-14.6を記録。前期に予測された値との差が-6.5とやや悪化傾向にある
- ・次期予測値が-18.8と、実績値と大きく変わらない見通しに

【4~6月期】

- ・実績値-18.8を記録。前期予測値と同値で、見通しどおりの結果となった
- ・次期予測値が-22.9と、やや悪化の見通しに

(7) 設備投資

| | 1~3月期 | | 4~6月期 | |
|---------|----------|------------|----------|------------|
| | 実績（1~3月） | 次期予測（4~6月） | 実績（4~6月） | 次期予測（7~9月） |
| 水産加工業者 | -2.1 | -12.5 | -8.3 | -6.3 |
| 実績と予測の差 | -2.1 | -10.4 | 4.2 | 2.0 |

【1~3月期】

- ・実績値-2.1を記録。前期に予測された値との差が-2.1と、ほぼ予測されたとおりの実績に
- ・次期予測値が-12.5と、設備投資はやや落ち込む見通しに

【4~6月期】

- ・実績値-8.3を記録。前期予測値より良好であるが、改善傾向にはない
- ・次期予測値が-6.3と、実績値と大きく変わらない見通しに

2. 【質問2】集計結果

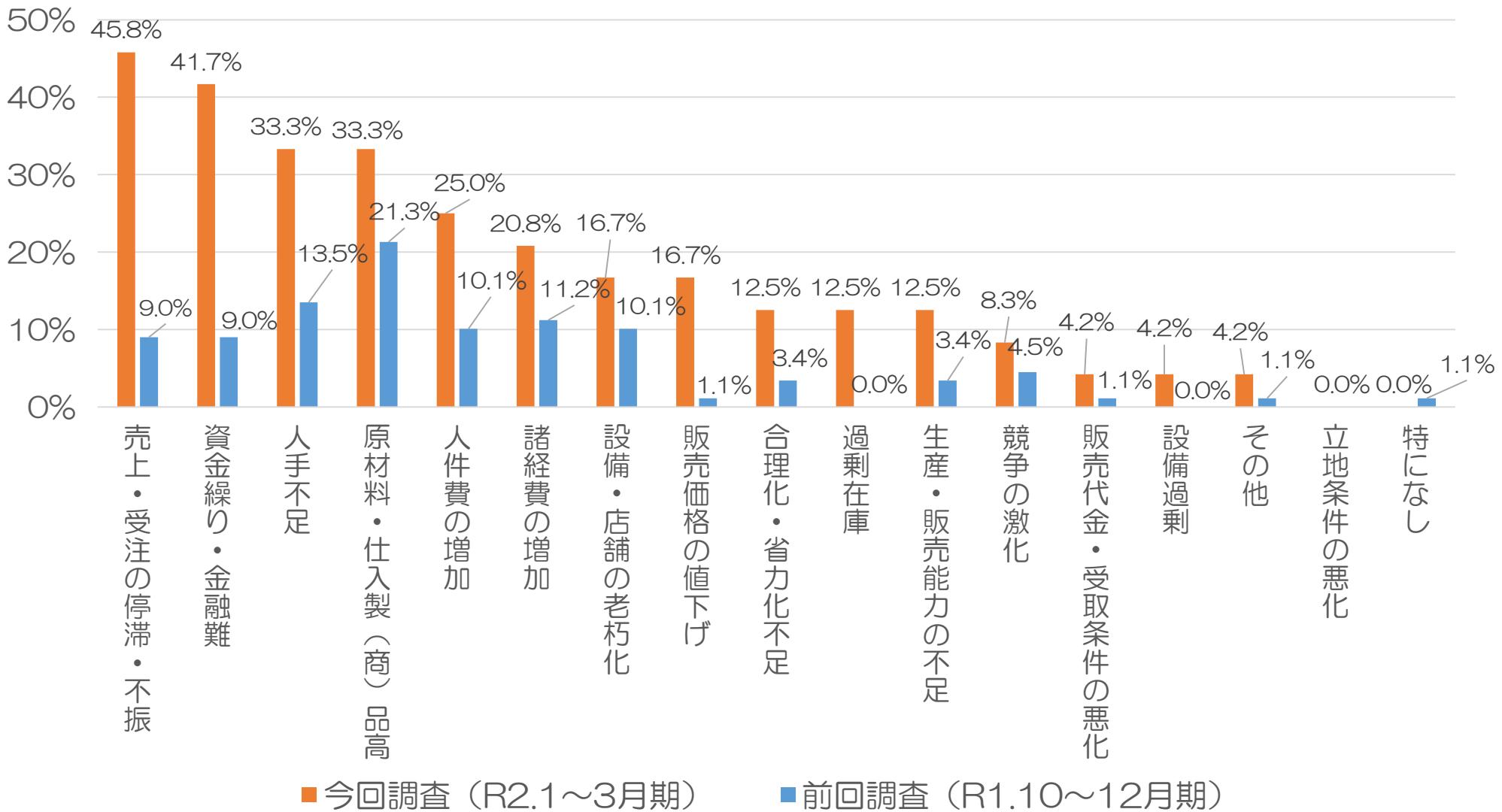
—経営上の課題—

質問事項

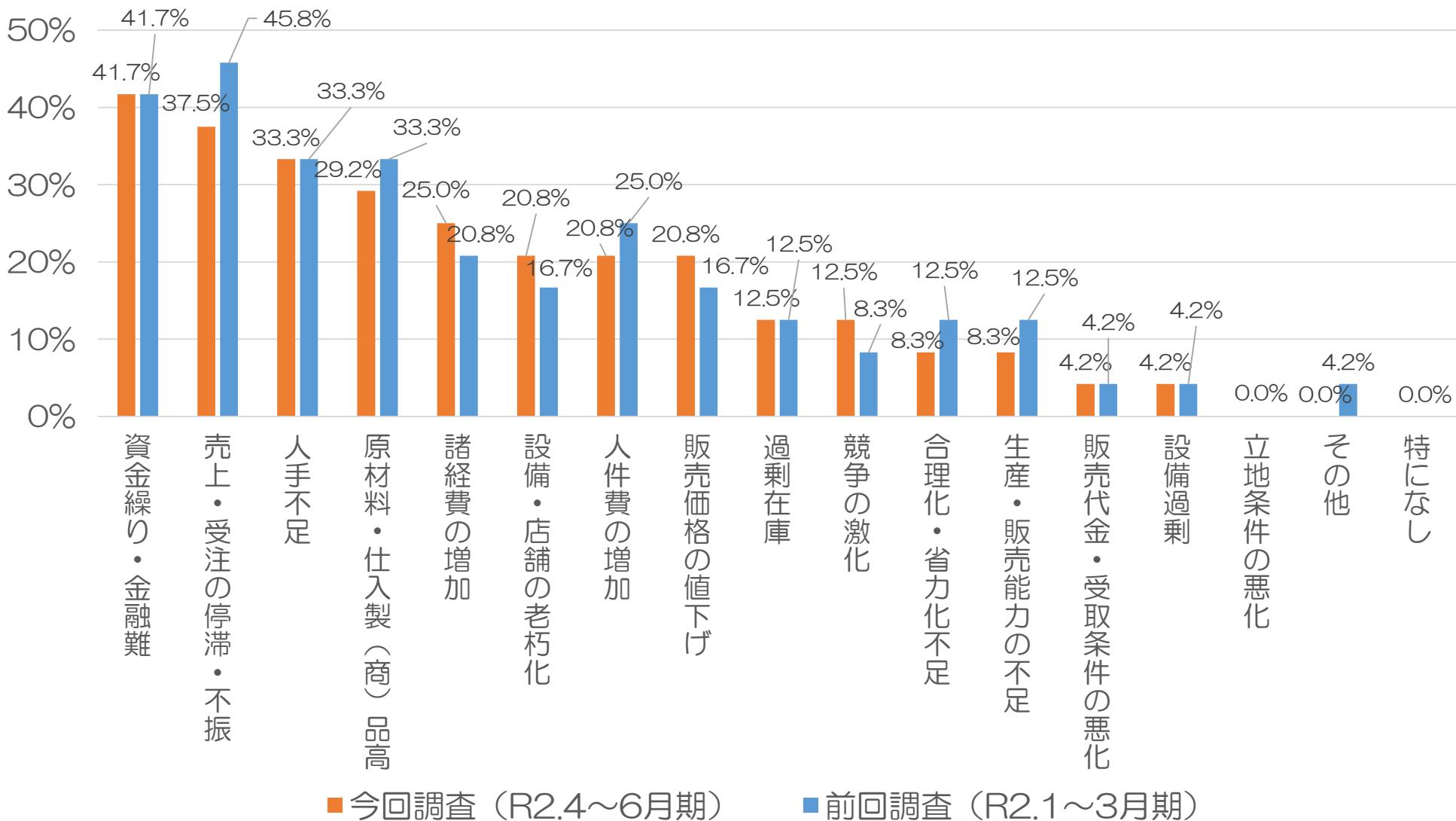
経営上の課題について、該当するものを3つまで選び、ご記入ください。

- | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 合理化・省力化不足 | <input type="checkbox"/> 設備・店舗等の老朽化・狭小 | <input type="checkbox"/> 原材料・仕入製（商）品高 |
| <input type="checkbox"/> 販売代金・受取条件の悪化 | <input type="checkbox"/> 設備過剰 | <input type="checkbox"/> 売上・受注の停滞・不振 |
| <input type="checkbox"/> 資金繰り・金融難 | <input type="checkbox"/> 人手不足 | <input type="checkbox"/> 人件費の増加 |
| <input type="checkbox"/> 過剰在庫 | <input type="checkbox"/> 販売価格の値下げ | <input type="checkbox"/> 競争の激化 |
| <input type="checkbox"/> 生産・販売能力の不足 | <input type="checkbox"/> 諸経費の増加 | <input type="checkbox"/> 立地条件の悪化 |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | | <input type="checkbox"/> 特になし |

(1) 経営上の課題：1月～3月期



(2) 経営上の課題：4月～6月期



(3) 特記事項

<1~3月期>

- ・「売上・受注の停滞・不振」、「資金繰り・金融難」の回答割合が、前回調査時より約35%増加しており、新型コロナウイルスの影響が色濃く出ていると推測できる
- ・「原材料・仕入製（商）品高」、「人手不足」は前回調査時より続く課題で、業界の課題として数値に反映されている

<4~6月期>

- ・1~3月期は「売上・受注の停滞・不振」が最も多い回答だったが、4~6月期は「資金繰り・金融難」がトップ項目となった（数値は41.7%で同値）
- ・各項目1~3月期と大きな差はない。新型コロナウイルスが上半期にわたって大きく影響している

3. 【質問3】寄せられた声

新型コロナウィルス感染症流行拡大による
事業への影響や、要望する支援

自由記述（新型コロナウイルスの事業への影響、要望する支援、他）

＜給付金、助成金＞

- ・助成金などの各種制度は長期的な視点で展開してほしい
- ・雇用調整助成金制度の継続

＜雇用＞

- ・外国人実習生の受入れが延期になった
- ・コロナウイルス感染防止対策への従業員の負担が増加している

＜経営＞

- ・追加融資が受けやすい制度を求めたい
- ・柔軟な働き方、テレワーク環境整備に対する助成金があると嬉しい
- ・判子文化の見直し、申請書類の電子化などは、国や自治体でさらに進めてほしい

＜新型コロナウイルスの流行拡大について＞

- ・一日も早いワクチン開発を望む
- ・PCR検査を手軽に受けられる体制づくりを望みたい